

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	湘北短期大学
設置者名	学校法人ソニー学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
		全学共通科目	学科共通科目	専門科目	合計		
総合ビジネス・情報学科	-	2	32	-	34	7	-
生活プロデュース学科	-		18	-	20	7	-
保育学科	-		42	-	44	7	-
(備考)							

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<p>本学 Web サイトの「情報の公表」→「修学上の情報等」→「授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業計画」に、実務経験のある教員等による授業科目の一覧表を掲載。 URL : https://www.shohoku.ac.jp/aboutus/financial.html</p>

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名 なし
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	湘北短期大学
設置者名	学校法人ソニー学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<p>本学 Web サイトの「大学の紹介」→「大学の概要」→「法人・設置学校に関する事項」に役員一覧を掲載 URL : https://www.shohoku.ac.jp/aboutus/pdf/rizi.pdf</p>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	公立大学法人山梨県立大学 理事長・学長	2020.4.1～ 2022.3.31	組織運営体制への チェック機能
非常勤	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 最高顧問	2020.4.1～ 2022.3.31	組織運営体制への チェック機能
非常勤	株式会社オープンシステム サイエンス研究所 代表取締役社長	2020.4.1～ 2022.3.31	組織運営体制への チェック機能
非常勤	学校法人ルーテル学院 理事・評議員 学校法人明治学院 理事・評議員	2020.4.1～ 2022.3.31	組織運営体制への チェック機能
非常勤	公益財団法人 ソニー教育財団 元理事長	2020.4.1～ 2022.3.31	組織運営体制への チェック機能
非常勤	ジャーナリスト (元 日本経済新聞編集委員、 明治学院大学 教授)	2020.4.1～ 2022.3.31	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	湘北短期大学
設置者名	学校法人ソニー学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画書(シラバス)作成にあたり、教務課が、教務委員会等でのシラバス記載内容検討結果を受けて、「シラバス作成要領」を作成し、これを1月中旬頃に全担当教員に配付している。担当教員はシラバスの必要項目をWebサイト上で入力し、定められた期日までに教務課に提出する。提出されたシラバスは、学科長、センター長及び教務・学生部長による内容確認が行われ、必要に応じて修正後、新年度開始時にWebサイト(後掲のURL)で公表される。</p> <p>シラバスには、授業の方法、授業内容、年間の授業の計画、授業の具体的到達目標、成績評価の方法・基準、準備学習の内容、授業時間数、教科書・参考書等が記載される。また、実務経験を有する教員が記載する項目として、実務経験の授業への活かし方の欄を設け、実務経験を有する教員が担当する授業であることが分かるように明示している。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>・本学の学生・教職員向けポータルサイトでの公表 URL： https://sol.shohoku.ac.jp/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL_SyllabusKensaku.aspx ・本学Webサイト「情報の公表」→「修学上の情報等」→「授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業計画」に掲載 URL： https://www.shohoku.ac.jp/aboutus/financial.html</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>本学は、「成績評価に関するガイドライン」に基づく明確な成績評価基準をシラバスに記載し、学生に周知している。授業科目の学修成果の評価は、「成績評価に関するガイドライン」及び「GPA制度に関するガイドライン」に基づき厳格かつ適正に実施し、単位を与えている。</p> <p>また、教務・学生部は成績評価やGPAの分布等について集計を行い、Webサイト(後掲のURL)で公表するとともに、各学科にフィードバックしている。</p> <p>(教育の質保証に関する情報URL) https://www.shohoku.ac.jp/aboutus/financial.html</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

本学はGPA(成績評定平均値)を成績通知書に記載し、学生に通知する。

「GPA」とは、下表にある通り、6段階の(成績)評価に対応したGP(グレードポイント)をすべての授業科目に配点(1単位あたり)し、そのGPの合計値を授業科目に基づく単位数の合計で除して算出する1単位当たりの評定平均値をいう。

GPA算出の対象授業科目は、AA、A、B、C、D、Eの6段階による成績評価を受けた授業科目であり、卒業要件に算入される全ての科目とする(注N評価(単位認定)による授業科目は除く)。

成績評価された6段階の区分ごとに、次に掲げるGPを配点する。

評価	得点	評価内容基準	GP
AA	90~100	基本的な到達目標を十分に達成し、極めて優秀な成果を収めている	4.00
A	80~89	基本的な到達目標を十分に達成している	3.00
B	70~79	基本的な到達目標を達成している	2.00
C	60~69	基本的な到達目標を最低限度達成している	1.00
D	59以下	基本的な到達目標を達成していないので再履修(再試験)が必要である	0.00
E	履修放棄	登録をしているが、履修を放棄したもの	0.00

GPAは、学期ごとのGPA(以下「学期GPA」という。)と入学時から当該期までのGPA(以下「通算GPA」という。)の2種類がある。

学期GPA及び通算GPAの計算は以下の算式により行い、小数点第3位を四捨五入する。

学期GPA

$$\frac{\text{(当該学期の履修科目のGP} \times \text{当該科目の単位数)の総和}}{\text{当該学期の履修登録した科目の総単位数}}$$

通算GPA

$$\frac{\text{(全学期の履修科目のGP} \times \text{当該科目の単位数)の総和}}{\text{全学期の履修登録した科目の総単位数}}$$

上記の算出方法については、学生全員に配付する「履修ガイド」に記載するとともに、本学Webサイト*1(後掲のURL)で公表している。

GPA分布状況(学科別、フィールド・コース別)、平均GPA(学科別・学年別・フィールド/コース等別)を本学Webサイト*2(後掲のURL)で公表している。

客観的な指標の算出方法の公表方法	<p>*1 本学Webサイトの「在学生・保護者の方」→「シラバス・履修計画」に掲載 URL： https://www.shohoku.ac.jp/student/syllabus.html</p> <p>*2 本学Webサイトの「大学の紹介」→「情報の公表」→「教育の質保証に関する情報」に掲載 URL： https://www.shohoku.ac.jp/aboutus/financial.html</p>
------------------	--

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本学は、教育理念に基づき以下の「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」を策定し、どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するかを明確に定めている。</p> <p>本学は、成績評価基準に基づき単位を修得し、ディプロマ・ポリシーに基づいて定められた卒業要件を満たした学生に対して卒業を認定する。</p> <p>卒業は、学生の単位修得状況を踏まえ、教授会における卒業判定を経て学長が決定する。</p> <p>「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」は、本学 Web サイト（後掲の URL）にて公表するとともに、履修ガイド、学生募集要項に掲載し、学生および入学希望者等への周知を図っている。</p> <p>【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】</p> <p>1. 湘北短期大学</p> <p>湘北短期大学は、教育目的に定める人材を育成するために、所定の期間在学し、所属する学科の学びに関する知識、技能を身につけ、所定の単位を修得した学生に学位を授与します。</p> <p>2. 総合ビジネス・情報学科</p> <p>総合ビジネス・情報学科は、以下の資質・能力を有するに至った学生に短期大学士（総合ビジネス・情報）の学位を授与します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会人として必要なコミュニケーション能力を身につけている。 ・流通の仕組み、会社の役割、金銭の動きなどのビジネス知識を身につけている。 ・情報化されたビジネス社会に必要な IT 活用能力を身につけている。 ・各フィールドで主として目指す業種・職種で求められる実践的知識と技能を身につけている。 <p>3. 生活プロデュース学科</p> <p>生活プロデュース学科は、以下の資質・能力を有するに至った学生に短期大学士（生活プロデュース）の学位を授与します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立した女性として多様な社会で活躍する意志を持っている。 ・人と関わって課題に取り組み、目標の達成に向けて努力することができる。 ・本学科の教育課程に設けた生活に関連する分野の専門知識と基礎技能を習得している。 ・継続して主体的に学修を深める姿勢を身につけ、快適な生活を創り出すことができる。 <p>4. 保育学科</p> <p>保育学科は、以下の資質・能力を有するに至った学生に短期大学士（保育）の学位を授与します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自らの意思と主体性を持つ人材になるための資質・能力を身につけ、社会人として必要とされる知識や技能を習得している。 ・保育の目的や対象を十分理解し、より良い保育の内容・方法に関する知識や技能を習得し、さらに実践的応用力を身につけている。 ・保育に関する学びを発展的に深めながら、自ら設定した課題への取り組みと考察を行い、さらに将来に向けた主体的・実践的な取り組みを行うことで、保育者としての資質を十分に身につけている。 	
卒業の認定に関する方針の公表方法	<p>本学 Web サイト「大学の紹介」→「教育基本方針」に掲載）</p> <p>URL : https://www.shohoku.ac.jp/aboutus/policy.html</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	湘北短期大学
設置者名	学校法人ソニー学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.shohoku.ac.jp/aboutus/financial.html
収支計算書又は損益計算書	https://www.shohoku.ac.jp/aboutus/financial.html
財産目録	https://www.shohoku.ac.jp/aboutus/financial.html
事業報告書	https://www.shohoku.ac.jp/aboutus/financial.html
監事による監査報告(書)	https://www.shohoku.ac.jp/aboutus/financial.html

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 本学 Web サイト「大学の紹介」→「情報の公表」→「自己点検評価報告書」に掲載 URL: https://www.shohoku.ac.jp/aboutus/financial.html
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: 本学 Web サイト「大学の紹介」→「認証評価(適格認定)」に掲載 URL: https://www.shohoku.ac.jp/aboutus/evaluation.html

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 総合ビジネス・情報学科、生活プロデュース学科、保育学科
教育研究上の目的（公表方法：本学 Web サイト「大学の紹介」→「学則」に掲載） URL：https://www.shohoku.ac.jp/aboutus/gakusoku.html
（概要） 2020 年度学則 （目的及び使命） 第 1 条 2 本学は、教育基本法及び学校教育法の定めるところに従い、職業または实际生活に必要な専門の学芸とその实际的活用を深く研究し教授することにより、社会でほんとうに役立つ人材を育て、もって社会の発展に寄与することを目的とする。 3 学科の人材の育成に関する目的、その他の教育研究上の目的は次の通りとする。 （1）総合ビジネス・情報学科は、ビジネス知識・IT 活用能力・ビジネスの実践的 技能を備えた社会で役に立つ人材を育てる。 （2）生活プロデュース学科は、心身ともに快適で豊かな生活を創り出していくと ともにビジネス社会で活躍する女性を育てる。 （3）保育学科は、保育に必要な知識と技能を修得し、実践的指導力と創造性を身に つけ、乳幼児の豊かな心と想像力を養うことができる人材を育てる。
卒業の認定に関する方針（公表方法：本学 Web サイト「大学の紹介」→「教育基本方 針」に掲載） URL：https://www.shohoku.ac.jp/aboutus/policy.html
（概要） ○卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー） 1. 湘北短期大学 湘北短期大学は、教育目的に定める人材を育成するために、所定の期間在学し、所 属する学科の学びに関する知識、技能を身につけ、所定の単位を修得した学生に学位 を授与します。 2. 総合ビジネス・情報学科 総合ビジネス・情報学科は、以下の資質・能力を有するに至った学生に短期大学士 （総合ビジネス・情報）の学位を授与します。 ・社会人として必要なコミュニケーション能力を身につけている。 ・流通の仕組み、会社の役割、金銭の動きなどのビジネス知識を身につけている。 ・情報化されたビジネス社会に必要な IT 活用能力を身につけている。 ・各フィールドで主として目指す業種・職種で求められる実践的知識と技能を身につ けている。 3. 生活プロデュース学科 生活プロデュース学科は、以下の資質・能力を有するに至った学生に短期大学士（生 活プロデュース）の学位を授与します。 ・自立した女性として多様な社会で活躍する意志を持っている。 ・人と関わって課題に取り組み、目標の達成に向けて努力することができる。 ・本学科の教育課程に設けた生活に関連する分野の専門知識と基礎技能を習得してい る。 ・継続して主体的に学修を深める姿勢を身につけ、快適な生活を創り出すことができ る。 4. 保育学科

保育学科は、以下の資質・能力を有するに至った学生に短期大学士（保育）の学位を授与します。

- ・自らの意思と主体性を持つ人材になるための資質・能力を身につけ、社会人として必要とされる知識や技能を習得している。
- ・保育の目的や対象を十分理解し、より良い保育の内容・方法に関する知識や技能を習得し、さらに実践的応用力を身につけている。
- ・保育に関する学びを発展的に深めながら、自ら設定した課題への取り組みと考察を行い、さらに将来に向けた主体的・実践的な取り組みを行うことで、保育者としての資質を十分に身につけている。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学 Web サイト「大学の紹介」→「教育基本方針」に掲載

URL：<https://www.shohoku.ac.jp/aboutus/policy.html>

（概要）

○教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

1. 湘北短期大学

湘北短期大学は、本学の教育目的、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる知識・技能を学生に習得させるため、「リベラルアーツ科目」、「国際理解科目」、「インターンシップ科目」、「就業力育成科目」、「専門教育科目」、「日本語科目」の6つの学習区分を設定し、これらの学習区分がバランス良くかつ体系的に編成されたカリキュラムを用意します。また、このカリキュラムに基づく授業が、一人ひとりの学生により良い学習効果をもたらすように、少人数・参加型・双方向型授業の実践に努め、丁寧な指導によって学生の成長を支援します。

2. 総合ビジネス・情報学科

総合ビジネス・情報学科は、ビジネス社会で活躍できる人材を育てるため、専門教育科目において「共通必修科目」、「フィールド科目」、「共通選択科目」という3つの学習区分を設定し、会社の役割・流通の仕組み・金銭の動きなどのビジネス知識、情報化されたビジネス社会に必要なIT活用能力、さまざまな業種・職種で求められる実践的知識と技能の3点を身につけることができるカリキュラムを用意します。

また、グループワーク、ビジネスの第一線で活躍する講師による授業、企業とタイアップしての活動など実践的な教育手法を用いて学生の成長を支援し、IT・簿記・販売・秘書・観光などの各種資格取得もサポートします。

3. 生活プロデュース学科

生活プロデュース学科は、専門教育科目において「共通必修科目」、「コース科目」、「共通選択科目」の3つの学習区分を設定しています。「共通必修科目」では仕事をして生きていくための基礎を身につけます。「コース科目」はファッション・フード・インテリアデザイン・子どもサービス、医療事務・情報の領域ごとに体系化され、それぞれを深く実践的に学ぶことができます。また、グループワークを通じて協同学習に取り組み、ファッションショーなどのイベントや学習成果を一般公開する機会を設けています。これらの学びを通じ、提案力や実践力を身につけ、衣・食・住・子ども・医療に関わる生活関連産業で役立つ能力を育成します。

4. 保育学科

保育学科は、「リベラルアーツ科目」、「国際理解科目」、「保健体育科目」、「専門教育科目」の4つの学習区分を設定しています。「専門教育科目」は、習得させる知識・技能の性質や学習の段階に応じて、「専門基礎科目」、「目的理解科目」、「対象理解科目」、「内容・方法科目」、「基礎技能科目」、「総合演習科目」、「実習科目」、「その他科目」の8つに区分されます。

それぞれの学習区分の目的は、以下の通りです。

- ・自らの意思と主体性を持つ人材になるための基礎を学ぶ「リベラルアーツ科目」・「国際理解科目」及び身体的基礎を育むための「保健体育科目」

- ・保育者としての知識・技能を学ぶ前提として、社会人として必要とされる一般的な知識を習得するための「専門基礎科目」
- ・保育の目的や対象を理解するための「目的理解科目」・「対象理解科目」、保育の内容・方法を理解するための「内容・方法科目」、保育の技能を習得するための「基礎技能科目」及び実践的応用力を習得するための「実習科目」
- ・保育学科での学修を総合し、保育者としての資質を高めるための「総合演習科目」、将来に向けた主体的・実践的な取り組みを行う「その他科目」

入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学 Web サイト「大学の紹介」→「教育基本方針」に掲載

URL：<https://www.shohoku.ac.jp/aboutus/policy.html>

（概要）

○入学受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

1. 湘北短期大学

湘北短期大学は、教育目的に定める人材を育成するために、学修に対する目的や意欲、高等学校等までの学習および様々な活動を通じて、基礎学力、主体的に行動する態度を身につけた、本学で学ぶことへの強い意欲と情熱をもった人を受け入れます。また、基礎的な知識、身近な問題について自ら考え表現できる力を身につけて入学してくるよう、以下のことを求めます。

- ・高等学校等の教育課程に記載のある教科を幅広く修得している。
- ・高等学校等までの履修内容のうち、「国語総合（現代文）」と「英語」を通じて、聞く・話す・読む・書くという基礎的なコミュニケーション能力を身につけている。
- ・学びたい学科の知識や経験を社会で活かしたいという目的意識と意欲がある。
- ・入学前教育として必要な、基礎的な知識を身につけるためのプログラムに取り組むことができる。

このような入学者を適正に選抜するために、多様な選抜方法（AO 選抜、推薦選抜（指定校制・公募制）、一般選抜、外国人留学生選抜等）を実施します。

2. 総合ビジネス・情報学科

総合ビジネス・情報学科は、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を通して、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に定める要件を満たす学生を育成するため、以下の知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた人を求めます。

- ・高等学校等の教育課程に記載のある教科を幅広く修得している。
- ・他の人と適切なコミュニケーションをとり、協力して目標を達成する意欲がある。
- ・現代社会や国内外の出来事に興味を持っている。
- ・仕事を通じて社会で活躍したいと望んでいる。
- ・学科が求める基礎知識を身につけるため、入学事前学習に取り組むことができる。

3. 生活プロデュース学科

生活プロデュース学科は、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を通して、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に定める要件を満たす学生を育成するため、以下の知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた人を求めます。

- ・高等学校等の教育課程に記載のある教科を幅広く修得している。
- ・生活に関連する分野に興味を持ち、知識と技能を身につける意欲がある。
- ・演習、実習を含む多様な形態の学びに熱心に取り組むことができる。
- ・他の人々との協力や連携による活動経験があり、人と協力しながら課題をやりとげる意欲がある。
- ・自立した女性として社会で活躍したいと望んでいる。
- ・学科が求める基礎知識を身につけるため、入学事前学習に取り組むことができ

る。

4. 保育学科

保育学科は、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を通して、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に定める要件を満たす学生を育成するため、以下の知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた人を求めます。

- ・高等学校等の教育課程に記載のある教科を幅広く修得している。
- ・自分の意見をまとめ、文章で表現する能力を身につけている。
- ・他者と適切なコミュニケーションを図ることができ、共通の目的のために主体性を持ちながら協調して課題に取り組む能力を身につけている。
- ・福祉や教育に関する課題について考え、取り組むための基礎知識と思考力を持っている。
- ・学科が求める基礎的知識を身につけるため、入学事前学習に取り組むことができる。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：本学 Web サイト「大学の紹介」→「大学の概要」→「法人・大学の組織図」に掲載
URL：https://www.shohoku.ac.jp/aboutus/pdf/organigram.pdf

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）

学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
生活プロデュース学科	—	5人	1人	3人	0人	0人	9人
保育学科	—	4人	4人	4人	0人	0人	12人
総合ビジネス・情報学科	—	5人	4人	4人	0人	0人	13人

b. 教員数（兼務者）

学長・副学長	学長・副学長以外の教員	計
0人	98人	98人

各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)	公表方法： 本学 Web サイト「学科案内」→「教員一覧」で、「教員の保有学位および主な教育研究実績」を掲載 URL： https://www.shohoku.ac.jp/subject/teacher/index.html
------------------------------	---

c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）

FD 活動は、教務・学生部の所管事項とし、組織的な研修を実施している。

【2019 年度 研修開催実績】

- ・相互授業参観週間 前後期各 2 週間
- ・授業公開デー 前後期各 1 日開催
- ・自己学修及び授業評価アンケート 前後期、原則、全授業で実施
- ・研修会 年間 4 回開催

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
総合ビジネス・ 情報学科	220人	240人	109%	440人	494人	112%	0人	0人
生活プロデュース学科	125人	124人	99%	250人	255人	102%	0人	0人
保育学科	135人	145人	107%	270人	281人	104%	0人	0人
合計	480人	509人	106%	960人	1,030人	107%	0人	0人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
総合ビジネス・ 情報学科	272人 (100%)	3人 (1.1%)	256人 (94.1%)	13人 (4.8%)
生活プロデュース学科	109人 (100%)	1人 (0.9%)	106人 (97.2%)	2人 (1.8%)
保育学科	133人 (100%)	0人 (0.0%)	133人 (100%)	0人 (0.0%)
合計	514人 (100%)	4人 (0.8%)	495人 (96.3%)	15人 (2.9%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)

学科名	入学者数 (平成30年度)	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他 (除籍)
総合ビジネス・情報学科	283人 (100%)	268人 (94.7%)	4人 (1.4%)	9人 (3.2%)	2人 (0.7%)
生活プロデュース学科	115人 (100%)	109人 (94.8%)	2人 (1.7%)	4人 (3.5%)	0人 (0.0%)
保育学科	137人 (100%)	133人 (97.1%)	0人 (0.0%)	2人 (1.5%)	2人 (1.5%)
合計	535人 (100%)	510人 (95.3%)	6人 (1.1%)	15人 (2.8%)	4人 (0.7%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>本学は、学則に則り、各学科の教育課程を定め、本学及び学科の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を開設している。教育課程の編成にあたっては、①学科に係る専門の学芸が教授できること、②職業または实际生活に必要な能力を育成できること、③幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い豊かな人間性を涵養できることに配慮し、体系的なものとなるよう取り組んでいる。学年暦は、前期・後期に、各曜日 15 回の授業の実施、1 週間程度の試験期間の配置ができるように設定している。教育課程表には、各学科、各学年の教育課程において開設している全ての科目が掲載され、各授業の授業種別（講義、演習、実験・実習・実技）、単位数、必修/選択、資格取得にあたって必要となる科目等を記している。</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>大学及び各学科の「学修成果（ラーニングアウトカムズ）」を定め、どのような力に身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するかを「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」に明確に定めている。</p> <p>学生の各授業科目における学修成果の獲得状況に応じて「成績評価に関するガイドライン」に基づく明確な成績評価基準により単位を認定している。</p> <p>学則に基づいて定められた卒業要件をすべて満たした学生に対して卒業を認定する。卒業判定は、単位修得状況を踏まえ、教授会を経て学長が決定する。</p> <p>また、アセスメントポリシーに基づく学修成果の測定・成績評価や GPA の分布等について集計を行い、Web サイト（後掲の URL）で公表するとともに、各学科にフィードバックしている。</p>

学科名	卒業に必要な単位数 (2020 年度入学生)	G P A 制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
総合ビジネス・情報学科	68 単位	有 無	49 単位
生活プロデュース学科	68 単位	有 無	45 単位
保育学科	63 単位	有 無	59 単位
G P A の活用状況 (任意記載事項)	公表方法：本学 Web サイトの「大学の紹介」→「情報の公表」→「教育の質保証に関する情報」に掲載 U R L : https://www.shohoku.ac.jp/aboutus/financial.html		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)	公表方法：本学 Web サイトの「大学の紹介」→「情報の公表」→「教育の質保証に関する情報」に掲載 U R L : https://www.shohoku.ac.jp/aboutus/financial.html		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

<p>公表方法：本学 Web サイト「大学の紹介」→「大学の概要」→「法人・設置学校に関する事項」にキャンパスの概要を掲載 U R L : https://www.shohoku.ac.jp/aboutus/outline.html</p>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学科名	授業料 (年間)	入学金	施設設備 整備費	備考
生活プロデュース学科	850,000円	300,000円	230,000円	テーブルマナー実習費 2,500円
保育学科	920,000円	300,000円	230,000円	
総合ビジネス・情報学科	850,000円	300,000円	230,000円	留学フィールドは留学費用 548,000円 観光ビジネスコースは テーブルマナー講座費用 2,000円

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

<p>a. 学生の修学に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>■学費負担の軽減 本学では、学業成績優秀者に対する授業料減免型の奨学金制度、学習意欲や課外活動への参加意欲をさらに高めるための奨学金制度、経済的支援を必要とする学生のための奨学金制度など、複数の制度を設けている。</p> <p>①井深大奨学金制度 ②学長特待生制度 ③特待生制度Ⅰ・Ⅱ ④特待生制度(ソニー株式会社の寄付による奨学金) ⑤みずき会(湘北短期大学同窓会)の寄付による活動実績優秀者奨学金制度 ⑥国際理解教育奨学金制度Ⅰ・Ⅱ(ソニー株式会社の寄付による奨学金) ⑦湘北短期大学同窓生子女奨学制度 ⑧ワークスタディ・プログラム奨学制度 ⑨資格取得奨励制度</p> <p>■中途退学防止 学習意欲の喪失や成績不振といった理由での退学を防止するために、適宜出席状況の確認を行うなど、日頃の修学状況の把握に努めている。成績が基準以下の学生に対して、保護者を交えた担当教職員との三者面談を実施し、注意喚起や履修指導などの修学支援に取り組んでいる。また、経済的理由による中途退学を防止するために、期日までに学納金を納入できない学生については、納入延期や分割納入など、学業継続するための相談に応じている。</p> <p>教員はオフィスアワーを設け、学生からの授業内容や就職、学生生活に関する相談等に対応している。オフィスアワーは、個人研究室のドアに掲示し、学生に周知している。なお、非常勤の教員に対する学修に関する質問等は、非常勤講師控室またはメール等のできる体制を取っている。</p>
<p>b. 進路選択に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>キャリアサポート課が中心となり、各学科と連携を図りながら、学生一人ひとりに対して丁寧な就職支援を行っている。キャリアコンサルタントの資格を持った相談員をはじめ、ゼミや班の教員が日頃から学生の就職相談に対応している。また、進学を希望する学生に対しては、進学留学相談室において支援を行っている。</p>
<p>c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>全学生が健康的な学生生活を送ることができるよう、専任の看護師が病気・ケガ等の応急措置等を行う「健康相談室」と、週2回、専門のカウンセラー(臨床心理士)が相談に応じる「なんでも相談室」を学内に設置している。また、年中無休の「電話・Webカウンセリング」、各地の提携カウンセリングルームでの「面談カウンセリング」を外部団体に委託し実施している。</p> <p>なお、専任教員はゼミナールやマイスター制度を通じて担当する学生との距離を近いものとし、日常の学生生活における相談に対応するなど、学生に対するサポート体制を全学的に整えている。</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：本学 Web サイトの「情報の公表」に掲載

URL：<https://www.shohoku.ac.jp/aboutus/financial.html>